

土屋鳳洲 つとや ほうしゅう 漢學者。天保十一年十二月十三日京國岸和田生れ、大正十五年二月十五日歿（八四—一九三）。講信弘（弘と修す）、字信毅。別號晚晴樓。岸和田藩醫學講習館の學心、次いで池田草菴の師事した。維新後藩醫教授兼世子侍讀、明治五年堺縣學教師、のち華族女學校教授、東洋大學教授歴任。また、「松學舎、斯文會、日本弘道會」の盡力した。講書始、心經講習の進講。

著書に、『改正 人之基』（明治九年十一月大阪・近江佐平出版）、『又家金丹』全二冊（編、明治十二年二月晚晴舎藏）、『孝經纂釋』（明治十六年七月大阪・松雲堂蔵版）、『近世大戦紀略』（明治二十九年十一月五日開發社）、『韓非子鈔註』（昭和六年九月二十日大阪・文進堂書店）等。『鳳洲土屋私』（大正十五年五月土屋基春編）あり。

